

実践的『監査コミュニケーション技法』マスターコース

～現場を巻き込み、監査・内部統制・リスク管理の実効性を高める！～

日時 平成26年10月22日(水) 10:00～17:00
計6時間(1日間)

対象

- 監査役、内部監査・内部統制部門の方
- 法務・コンプライアンス・CSR部門の方
- 総務部門の方

会場 NHK 名古屋放送センタービル内教室

講師 日本マネジメント総合研究所 理事長 戸村 智憲 氏
公認不正検査士 (CFE)

本セミナーの強化ポイント

- 円滑な監査等を行う上で、現場の反発を受けず参画意識を高めるために必要なスキル・ノウハウである、「監査コミュニケーション技法」を学びます。

講義項目

1. なぜ監査・内部統制が現場から嫌われるのか～問題を指摘するだけの「検査」で終わっていないか

- ・現場が抱く内部統制の5つの誤解
～誤解と不信感が招く業務のダブルスタンダード化
- ・監査側が陥る5つのワナ
～指導側が「力を込める」と現場に「力が伝わる」ことはどう違うか
- ・監査・リスク管理・内部統制は報われない仕事か
～「報われる」という報酬の基準とは
- ・今の監査・リスク管理・内部統制にあるPDCAの欠落とは
～課題を指摘する「検査」だけにとどまっていないか
- ・明るい監査・リスク管理に向けた「内部統制リテラシー」とは
～現場との簡単な共通言語を根付かせることから
- ・現場の実態を知り、「現場と共に解決策探し」する姿勢が必要
～現場目線で取り組む組織の問診、検診、CTスキャン
- ・内部統制は「内部自治」であるということ
～健全に収益を上げ続けるしくみ・プロセスの構築のために

2. いま求められる、監査コミュニケーション技法～「課題解決への監査」の現場実践に向けて

- ・独自提唱の Auditing Communication Protocol (疑う流儀) とは
- ・面接調査技法①～⑦

①事実確認と証人集めのための流儀
②不正の兆候を見抜く監査コミュニケーションのコツ
他5例

- ・指導時の会話で相手を尊重する監査対応①～⑤

①相手を尊重する指導にする会話のニュアンス
他4例

- ・造反者に「セカンドチャンス」を与えるかという問題
- ・コーチング志向監査の3ステップ
- ・相手の反応を知るための5つの適応規制
- ・課題解決に向けた説得の3パターン
- ・監査コミュニケーションにおける服装・視線・しぐさ
- ・監査人やリスク管理者に必要なスキルや素養
- ・IT監査技法による時間節約でココロに向き合う時間を

3. 内部統制の有効性を高める監査コミュニケーション～現場を巻き込む「明るい監査」の確立に向けて

- ・明るい監査に向けた基本姿勢と流儀①～⑤

①現場社員の身の潔白を代わって証明するということ
②潔白を証明するためのチェックであるという姿勢
他3例

- ・現場立ち入りへの抵抗感をなくす工夫
- ・内部通報への真摯で安心感を与える対応
- ・CSA (コントロール・セルフ・アセスメント) による現場を巻き込む対応
- ・明日から使える監査ファシリテーションの「7つ道具」
- ・監査による改善策は「6W2H」の視点でまとめる

4. 質疑応答・まとめ

※プログラムの順序や内容は、最新動向などを踏まえて改訂・変更する場合がございます。

担当講師より

経営の視点を持ちつつ現場の方々寄り添った「ココロを大切にす監査・リスク管理」について、初心者から上級者まで1日で「知る」から「わかる」へ、「わかる」から「できる」へとステップアップしていただける内容をお届けさせていただきます。

講師紹介

日本マネジメント総合研究所 理事長 公認不正検査士 (CFE) **戸村 智慧** 氏

早稲田大学卒。米国 MBA 修了 (全米優秀大学院生を受賞)。博士後期課程 (Ph.D) 中退。
 国連勤務にて、国連内部監査業務専門官、国連戦略立案専門官リーダーなどを担当。民間企業役員として監査統括、人事総務統括、IT 企業 (株) アシスト顧問 (社長: ビル・トッテン)、経営行動科学学会理事、JA 長野中央会顧問、岡山大学大学院非常勤講師などを歴任。監査法人の代表社員をはじめ、公認会計士や内部統制の講師・大手コンサルタントを指導する講師としても登壇。NHK「クローズアップ現代」TV 出演・番組監修担当。テレビ朝日「そうだったのか! 池上彰の学べるニュース」番組監修担当。その他 TV・ラジオ・新聞等で出演・寄稿など多数。全国で年間 120 講演・研修に加え、コンサルティング、執筆活動も行う。
 指導先は上場大手企業から中堅中小企業、金融機関、医療福祉機関、農協、自治体など幅広く担当。現在、日本マネジメント総合研究所理事長を務める傍ら、日本 ERM 経営協会会長、日本クラウドユーザー協会会長や (社) 日本取締役協会会員、組織学会正会員などとして、産学共に活躍中。現在著書は 20 冊以上。代表作に『監査 MBA 講座 企業統治の退廃と甦生』、『監査 MBA 講座 監査マネジメント技法』(ともに中央経済社)、『しっかり取り組む「内部統制」』(実務教育出版)、震災の 1 年前に「危機管理型クラウド」を提言・出版した『なぜクラウドコンピューティングが内部統制を楽にするのか』(技術評論社) など。

日時 : 平成 26 年 10 月 22 日 (水) 10:00 ~ 17:00
 計 6 時間 (1 日間)

会場 : NHK 名古屋放送センタービル内教室
 名古屋市中区東桜 1-13-3 NHK 名古屋放送センタービル ※右図参照

参加料	参加料	消費税等	合計
本会会員	30,000 円	2,400 円	32,400 円
一般	35,000 円	2,800 円	37,800 円

★複数名申込割引について
 同一企業 (団体) から同じ講座 (コース) に 2 名様以上でご参加の場合は、1 名様につき、2,160 円割引いたします。
 下記申込欄にご記入ください。

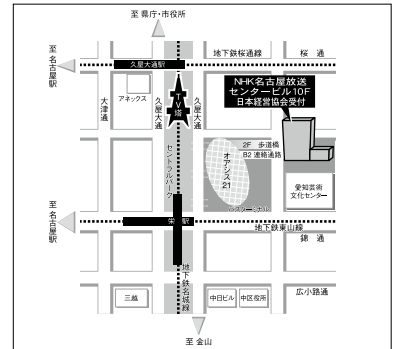
※参加料には、テキスト・資料代が含まれています

申込方法 : 下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX 等で下記へお申込み下さい。
 折り返し、参加券と振込口座を記載した請求書をご派遣責任者までお送り致します。

- 参加料 (負担金) は、銀行振込にて開催 3 営業日前までに納めください。(経理処理の都合で遅れる場合は、事前にご連絡下さい。)
- 開催 3 日前までに参加券が届かない場合は、恐れ入りますがお電話にてご確認ください。
- 参加のお取り消しにつきましては、必ずご連絡ください。参加者のご都合が悪くなった場合は、代理の方にご出席いただけますようお願い致します。
- 領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承ください。

キャンセルについて 開催日 3 日前~前日迄 30%、開催当日は全額をキャンセル料として申し受けますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先 : 一般社団法人 日本経営協会 中部本部 企画研修グループ (担当 / 坂井・里見)
 〒461-0005 名古屋市中区東桜 1-13-3 NHK 名古屋放送センタービル 10F TEL (052) 957-4172 (ダイヤルイン)
 日本経営協会・中部ホームページ <http://www.noma.or.jp/chubu/> FAX (052) 952-7418
 ※お電話の問い合わせ (駐車場含む) は、平日の 9:15 ~ 17:15 にお願いします。



【JR・名鉄・近鉄の名古屋駅より】
 地下鉄東山線 (4分) 栄駅より徒歩 5分
 地下鉄桜通線 (5分) 久屋大通駅より徒歩 8分
【中部国際空港より】
 名鉄 (25分) 金山駅 (乗換) 地下鉄名城線 (7分) 栄駅より徒歩 5分
 ※地下鉄駅からは、地下街、オアシス 21 経由で NHK ビルに直通

日本経営協会・中部本部 行 FAX (052) 952-7418 こちらの面をそのまま FAX して下さい。

60001640 **「実践的『監査コミュニケーション技法』マスターコース」参加申込書** 平成 26 年 月 日

★複数名申込割引に該当する場合はチェックして下さい <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 日本経営協会会員 <input type="checkbox"/> 一般 (該当するものに印をつけて下さい)	
(フリガナ) 団体名	TEL () -		ご派遣責任者 所属・役職名
(フリガナ) 所在地	FAX () -		
No.	参加者 (フリガナ)	所属・役職名	担当経験年数
			年 月
			年 月
			年 月
			ご氏名
			※メールアドレス
			<通信欄>

(注) 太わくの中をご記入下さい。電算処理の関係上、フリガナご派遣責任者名は必ずご記入下さい。No 欄は記入不要です。

※参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。
 ① 参加券や請求書の発送などの事務処理 ② セミナー運営 ③ セミナーなど本会事業のご案内
 お申込時点で趣旨にご同意いただいたものとさせていただきますので、予めご了承下さい。
 なお、③がご不要な場合は右記 にチェックしてください。

不要

地球にやさしい再生紙を使用しています。 ©